



Bさん（横地分類A1）は、

ズが来るのを耳を澄ませるようじつと待っています。次の繰り返しもよく聞いていて、読み終わり「おしまいですよ」と身体に触れると、「ふー」っと大きく息を吐き、ゆっくりと身体を動かし始め、にんまりと微笑むような表情をしていました。また、語りかけの部分ではゆつくりとリズムに乗せるように手や足を動かし、語りかけ全体のリズムを感じ

Aさん(横地分類A3)は日常生活の中で会話を聴きグフツとふき出すように笑いにこやかな表情で聞き入っています。抑揚や語りのリズム

Bさん(横地分類B1)は、他利用者の活動へも興味を持ちよく聴いています。他利用者と紙の音活動を行っていると、新聞紙がビリビリと破れ

今後も日常生活の中で利用者一人ひとりの興味関心のあることを見つけ、楽しみが広がるよう、活動に取り組んでいきたいと思います。

と感じました。また、活動を始めた頃は歌が1曲終わると、職員の方をじっと見て、次を歌つて欲しそうに静かに待つていましたが、今では、1曲終わると手を挙げて「はい」ともう一度歌つて欲しいことを職員に伝えてくるようになりました。活動の時間になると、活動ファイルを持って、職員にはやく活動をする場所へ行きたい事を伝えてきます。活動以外の時間でもお話をしたいことや、何かしたい事を、職員に手を伸ばして、「はい」と積極的に伝えるようになつていつたように感じました。日常生活を通してAさんは、自分の気持ちを表したり、伝えることの楽しさを知りました。Aさんの生活が変わつていつたように感じました。

職員の話す声や周りの音を聞いていても、すぐに意識が外に向き、手や足を速く動かしたり、頭をこすつたりするような感覚刺激で遊び始めます。Bさんに声を掛けていると、周りの音を聞いている時よりも、少し長くこちらに注目しているように感じました。日常活動ではゆったりした繰り返しのリズムのある語りかけ

ている様子が見られるようになります。Bさんにとつて自然に身体がゆったり動きだすようなリズムが感じられます。楽しめる語りかけだったのだと思いました。

あさひの

日常活動紹介

白柳
弥生

る音に興味を持ち「元をほころばせ聴いています。」「Bさん新聞紙破りますか」と語りかけると、返事をしようと口を開けますが、返事はせずニヤニヤしています。やはり気持ちは伝わってきますが、もっと気持ちを活動に向けるように「えつ、それじやあやらないの」と言うと、待っていましたとばかりに「アッ」と返事をします。そんなやりとりが、活動へ向かう気持ちを高めています。新聞紙を広げ両端をそれぞれの手の中に入れる時は、期待をしていましたようにニコニコしていきます。入れ終わると同時に、ぎゅっと力を入れ真剣な表情に変わります。左手は足の方に近づけ新聞紙を押さえるようにし右手は顔に近づけるように引つ張ります。紙に変化がないことを感じると、両方の手を外側に力を入れ力強く引つ張ります。ビリッと少し紙の破れる音がすると、にんまりとした表情を見せ一段と張り切れます。ビリツビリツビリーと破り切ると、力が抜け嬉しそうな顔になりました。